

- 2 . 海外での子育て製品・手法などに関する調査

Survey on Baby Care Goods and Service in Foreign Counties

| | |
|-----------------|--|
| キーワード | 子育て, 育児製品, 育児サービス, 社会インフラ |
| Key Word | baby care, nursing goods, nursing service, social infrastructure |

1. 調査の目的

日本では普及していないが、海外では普及している子育て用製品、サービス、手法などについて、海外での子育て経験者に対するインタビューを行い、海外子育て経験者の生の声を収集・分析することにより、子育てがしやすい、子育てが楽しいと感じられるような子育て用製品、サービスの普及や社会環境の整備に資することを目的とする。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査の構造

海外で子育て経験のあるママおよびパパ合計100人に対し、インタビュー(電話インタビュー含む)を実施し、その内容を分析した。

国内で子育てしているパパ・ママ合計100人(全国から5都市を選定)に対し、上記の内容について実際に使用してみたい製品・サービスなどのニーズを把握・分析した。

海外における子育て製品やサービスなどについて文献調査を行うと共に、有識者からなる「海外子育て研究会」で、調査方針・とりまとめ方向の検討などを行った。

(2) 調査の内容

海外子育て経験者の全般的印象

海外子育て経験者の多くが、日本に比べて、海外は、「赤ちゃんや子連れに優しい社会」と実感している。

「子育てが楽しい社会」

海外子育て経験者の多くは、海外での子育て経験を通じて、外出時における周囲の人による移動手伝い、妊婦や赤ちゃんへの「声掛け」や「温かいまなざし」などが大きな違いであり、その結果、海外では「子育てが楽しい」と感じる人が多い。

海外子育て製品などで便利な製品

液体ミルクや多様なチャイルドシートなど高く評価される海外子育て製品もあるが、日本製の育児製品の品質・品ぞろいなどに対する評価は海外にひけをとらない。

(フランス)ジュニアシート



(英国)しっかりした作りのベビーカー



子育てに配慮した社会インフラ・公共空間の整備

公共交通機関内のベビーカー専用スペースやバリアフリー化、小さな子供でも安心して遊べる公園の整備など、「子育てに配慮した社会インフラ・公共空間の整備」を望む声が強い。

(スウェーデン)地下鉄車内のベビーカー (フランス)小さな子供も安心して遊べる公園



男性の育児参加を促進するような製品

パパが使いたくなるようなデザインのベビーカーや抱っこひもなどの普及とともに、男性育児休暇がとりやすいような社会風土の醸成が不可欠である。

(スウェーデン)パパもお似合いのベビーキャリア(抱っこひも)



育児の社会化を支えるサービス

休日・夜間外出時のこども預かりサービス、公的施設などでの子供向け遊びプログラムなど、「育児の社会化」を支えるソフト面の充実も海外から学ぶことが多い。

具体的なアクションプログラムの検討

日本と海外の子育て環境を比較した場合、もっとも大きな違いは「子連れや妊婦に対する社会の温かいまなざし」の有無であり、それらが具体的な行動を伴っていることである。ベビーカーの具体的な介助の仕方、小さい子供が安全に遊べるスペースや遊具を設けるなど、さらなる配慮が必要である。

「子育てに優しい社会」にむけた国民運動の展開

今後、我が国の子育てに関する国民レベルでの意識改革(「心のバリア」の解消)が不可欠である。そのためには、「子育てに優しい社会」にむけた国民運動の展開が望まれる。単なるスローガンだけにとどまらず、公共空間での子育て支援スペースの整備といったハード面での施策との一体化が不可欠である。